

平成 18 年 10 月 6 日

シティー・ホテル及びコンベンション・ホール施設の誘致について(要望)

川崎商工会議所  
会頭 長澤 明彦

平素より弊商工会議所の事業活動につきまして、格別のご理解とご支援を賜わり厚く御礼を申し上げます。

さて、川崎駅周辺は市内最大の商業集積地であり、JR 東日本旅客鉄道と京浜急行電鉄の各川崎駅が立地する結節点として利便性が高く、再開発が急速に進展しております。そうした地の利を活かして、日本有数の研究機関や大型シネマコンプレックスの集積地としても活況を呈してきております。

特に、西口の変貌はめざましく、国際的なシンフォニーホールや業務機能を併せもつ「ミュージア川崎」や「ラゾーナ川崎プラザ」などの文化・業務・商業施設等の大規模な再開発が進展しております。

今後、この周辺には大手企業の研究機関や製造拠点整備が間近に迫っており、新川崎地区や武蔵小杉南口の再開発等も近い将来具現化いたします。

また、羽田空港の再拡張・国際化も 2009 年から供用開始され、川崎駅周辺も更に人的交流が盛んになるものと予想されます。

こうした中で、政令指定都市として、大都市の表玄関に相応しい基本的な機能を持つ施設が必要不可欠であります。唯一不足しているのは、経済界や来街者が満足して利用できるシティー・ホテルや大規模なコンベンション・ホールであります。こうした施設が不足しているため、市民や折角の来街者が東京や横浜の施設を利用している現況にあります。

つきましては、川崎市の利便性を活かし、市民、周辺の企業や経済団体、更には学会や国際会議などで利用できる施設として、川崎駅西口エリアに**グレードの高い、懇親の場としても活用できるシティー・ホテルや 1,000 名から 1,500 名が収容可能な大規模なコンベンション・ホール**を是非とも誘致していただきたく、特段のご配慮をお願い申し上げます。

提出先

川崎市長 阿部孝夫

(敬称略)